

内閣府： 職員宿舎の見直し、実施計画を発表

## ＜ 福利厚生目的は認めない、住宅使用料は大幅値上げ： 実施するなら 一方的な処遇改悪だ ＞

12月14日内閣官房は、「独立行政法人の職員宿舎の見直しに関する実施計画」を公表しました。本年4月に行政改革実行本部が決めた宿舎戸数の見直しと宿舎使用料の見直しの方針を具体化しようとするものです。

宿舎戸数の見直しについては、51法人(平成26年度に行政法人へ移行する予定の51法人、日本原子力研究開発機構も含まれる)の約2万300戸の宿舎のうち、先に行政改革実行本部が決めた宿舎供給を許す類型に属さない宿舎、約6300戸を廃止するというものです。廃止された宿舎の資産、約250億円は国庫に納付されるようです。5月に行政改革本部が決めた宿舎戸数の見直し方針では、福利厚生の入居は認めず、以下の5類型のみ認めるというものでした。残すとされる戸数は、各類型ごとに以下のように発表されました。

- ①離島、山間僻地に勤務する職員用 約0.1千戸
- ②頻度高く転居を伴う転勤等をしなくてはならない職員用 約6.1千戸
- ③居住場所が勤務場所の近接地に制限されている職員用 約1.7千戸
- ④災害、テロ、経済危機、武力攻撃等を含め、政府として連携して迅速な対応が求められ、緊急参集する必要がある職員用 約5.5千戸
- ⑤交代勤務等により深夜・早朝における勤務を強いられる職員など、職務遂行上やむを得ず当該宿舎に入居させる必要があると認められるもの 約0.3千戸

宿舎の使用料の見直しは、宿舎の建設、維持管理に見合う収入を得られる水準まで値上げするとしています。そのためには平均で約1.9倍にする必要があるとしています。国家公務員の宿舎使用料の値上げが、公務員給与の減額特例措置が終わってから2年ごと3段階で行うことになっており、独立行政法人においてもそれを参考にせよと述べています。

我々の日本原子力研究開発機構に対して、どのようにいわれているのか、原子力機構がどうするつもりなのか、聞いていります。12月16日の総選挙で、民主党が大敗したので政権は変わりますが、新しい政府もこの方針を引き継ぐでしょう。政権崩壊のドサクサで迷惑なものを残されてしまいました。

民間企業でも従業員を大切にすることは、住宅手当など、福利厚生はしっかり配慮します。給与削減特例措置も含め、我々の処遇をめぐる近年の動きは、優秀な人材を集め、気持ちよく働いてもらおうという配慮が見られません。我々の処遇改悪も問題ですが、優秀な人材を得られなくなることも問題です。それだけでなく原子力事故で、ますます人気なくなっているのにです。

投稿 K さん

## 原子力科学研究所構内も線量率が高いところがあるのか

先日、同僚から、「こんなものをご存知ですか?」と言われた([http://intra2.jaea.go.jp/nsri/pdf/senryou-map\\_121016.pdf](http://intra2.jaea.go.jp/nsri/pdf/senryou-map_121016.pdf)) 見てみると、“原子力科学研究所構内の線量率分布”だった。全然知らなかった…

東海村は、皆さんご承知の通り、“汚染状況重点調査区域”として指定を受けており、その除染実施計画では、いくつかの公園を除染することになっている。そのなかでも、かなり線量率が高いのが、“豊岡なぎさの森(村)の除染実施計画では平均空間線量率0.47マイクロSv/h”と、“真崎古墳群公園(同0.63マイクロSv/h)”なので(因みに、阿漕ヶ浦公園も除染対象)、おそらく原科研周辺というか、海に近い側は、結構汚染されてはいるだろうと思っていた。しかし、想像以上だった…「局所的に」とはいえ、4.4マイクロSv/hとは…

さて、ここでいくつか気になることが。

### 1. この“分布”は、誰がどのように測ったものを、いつ、どのように掲示し、

それを「どのようにアナウンスした?」のか。

原科研イントラ <http://intra2.jaea.go.jp/nsri/> “お知らせ”にリンクされているとはいえ、その存在をどれだけの人が見て知っているのだろうか? これは、頻繁にイントラを覗く人々だけのためのご褒美なのか? 使われない情報は、ゴミに近い。

### 2. 線量が高い部分については、

しかるべき措置(まずは、立ち入り制限か?) を行っているのだろうか?

例えば、「局所的に4.4マイクロSv/h」の鉄塔近くには、駐車スペースもあり、売店の横では喫煙者が集っている。(我輩の知る限り、放射線管理区域内では喫煙は出来ないはず) また、機構は、今後どのような対策を施すつもりなのだろうか?、例えば除染をする等…(何らかの作業をするとしたら結局、我輩達か?)

### 3. この“分布”は、村には知らせてあるのだろうか?

見たところ、線量が高いのは、北寄り海側と、R245沿いである。R245沿いの歩道などは、一般の人も通行する機会は少なくないと思う。この状態では、「広く意見を求めるパブコメ」をヒッソリと始め、意見を言ってほしい関係者にしか知らせないという、どこかの国の政府のやり方そのままである。

内部で働く人間と、地元自治体とにしっかりと周知をするとともに、しかるべき対策を施すことを機構に望みたい。

執行部補足：放射線管理部のテクノサロンでこの構内汚染の話の聞けると思います。

12月27日(木)15:30~16:30、放射線標準施設棟2F大会議室

演題：「原科研構内の放射線線量率分布と環境汚染の放射線防護基準」